

平成 27 年度 第 2 回高知県歯と口の健康づくり推進協議会 議事録要旨

1. 【日時】平成 28 年 3 月 17 日（木）19：00～20：55
2. 【場所】高知県庁本庁舎 1 階 正庁ホール
3. 【出席者】推進協議会委員 13 名（6 名欠席内 1 名代理委員出席）
事務局 6 名

4. 審議事項

(1) 基本計画に基づく平成 27 年度の取組実績について

- ・むし歯予防対策
- ・歯周病予防対策
- ・高齢者等の歯科保健対策
- ・その他・災害歯科保健医療対策

(2) 基本計画に基づく平成 28 年度の取組について

- ・むし歯予防対策
- ・歯周病予防対策
- ・高齢者等の歯科保健対策
- ・災害歯科保健医療対策と基本計画改訂スケジュールについて

5. 議事の経過の概要および結果

(1) 議題の審議

議長の議事進行により、各議題について事務局の説明を受け、審議が行われた。

「議題（1）基本計画に基づく平成 27 年度の取組実績について

事務局から平成 27 年度からの歯科保健推進体制の概要について報告。

【むし歯予防対策】

- （委員）フッ化物洗口の実施割合について、人数ではどうなっているのか。実施していないところの人数が多ければ、あまり意味がない。高知市など大きな都市の方が人数が多いので、人数での割合も出すべき。
- （事務局）事務局で精査し、次回協議会でデータを報告する。
- （委員）実施施設の少ない市町村については、どのように支援するのか。
- （事務局）学年が上がっていくにつれて、教育委員会と連携し、小学校や中学校まで増加させていきたいと考えている。
- （委員）高知市内は、実施を検討している学校が 3 校、保育所が 2 園と、今後増加してくると思われる。
- （委員）高知市内の実施率が低いところでは、説明会や講演会等で説得していくことが必要ではないか。
- （委員）高知市としても、そういった研修会は必要と考え、実施しているが、PTA 等

に対するきめ細かな説明が必要と思われる。

- (委員)フッ化物洗口実施率が低いというが、高知市は実際にむし歯が多いのか。
- (事務局)高知市の14歳の一人平均むし歯数は2.0本、中土佐町の12歳児のむし歯数は0.4本となっているが、中土佐町のデータと、今回提示した資料とが、学年が異なるため、単純比較はできない。フッ化物洗口を実施した翌年に効果があると思われることは難しいが、継続するとむし歯は減る。
- (委員)3歳児歯科健診では、高知市内もむし歯が少ない。
- (委員)フッ化物洗口を実施していない人に対して、個別にきくと、歯科診療所でのむし歯予防を定期的に受けていると答えられることがある。

【歯周病予防対策】

- (委員)がん患者等では、入院中は口腔ケア等に対して意識が高まっているが、治療が終わってしまうと、意識が低くなる。今後、患者に対する教育も必要ではないかと思われる。

【高齢者等の歯科保健対策】

- (委員)在宅歯科連携室への診療依頼が、26年度は134件に対して実施したのが132件に対して、27年度は、94件の依頼に対して実施数が60件まで少なくなっている理由は何か。
- (事務局)未実施の34件については、患者の都合での未実施が20件、通院が可能だった件数が14件であり、依頼に対応していないということではない。来年度は歯科衛生士を1人増やして、体制を強化する予定としている。
- (委員)27年度は、体制が変わったと聞いているが、それは影響していないのか。
- (事務局)実績件数が下がったのには、従事者の退職など体制の影響もあると思われる。
- (委員)在宅歯科診療を利用する際に困ったことは「在宅歯科診療が可能な歯科医師を探すのに苦労」とあるが、これは本当なのか。
- (委員)在宅歯科連携室に連絡してほしいということはケアマネジャーには伝えている。
- (委員)在宅歯科連携室は、依頼してからのやり取りに時間がかかる。在宅歯科連携室を通じることで、診療までの時間がかかるため、ケアマネジャーに広報してはどうか。
- (委員)在宅歯科連携室については、なるべく早めに対応できるような体制にしていく。
- (委員)実態調査の結果について、前回より大幅に悪化したところについては、どういった背景があるのか。

- (事務局) 現在、調査結果は、徳島大学の方で分析中であり、次回協議会までに原因を精査した上で報告する。

「議題(2) 基本計画に基づく平成28年度の実施について」

- (委員) 妊婦歯科健診は良い取組だと思うが、どのように保護者の方に伝えたら良いか。
- (事務局) 現在、パンフレットを医療機関等から配布し、伝えている。
- (委員) 歯が悪いと、認知症になるのか。
- (委員) 関連があるといわれている。
- (委員) 歯周病と全身疾患との関連がいわれる中で、妊婦に気軽に受診の機会を与えるのは良いことだと思われる。
- (委員) 妊婦を集めて啓発をすることは非常に難しい。歯科衛生士会には保育園等への指導依頼が来るが、できたら、年1~2回でも中学や高校に指導に入ることができれば、早めに妊婦の歯周病予防の重要性を教育することが可能と思われる。
- (委員) 口腔がん検診について、県としての取組みをどのように考えているか。
- (事務局) 口腔がん検診については、いったん事務局で気づかされた上でお示しいた。
- 基本計画改訂のスケジュールについて委員の了承を得た。

6. 閉会

以上をもって議事全部を終了し、20時55分に閉会した。